

株式会社ブリヂストン 様



「Net-It Centralで『かんたん登録。一発検索。らくらく表示』が実現し、ベテランから新人への知識継承が進んでいます」
ブリヂストン 化工品業務部 勝田浩二氏 五十嵐重彦氏



株式会社ブリヂストン 化工品業務部情報システムユニットリーダーの勝田浩二氏(写真左)と、五十嵐重彦氏(写真中央右)に、かつての文書共有の問題点、およびそれがNet-It Centralによりどう解決したかを詳しく聞いた。(写真右は弊社社長 高山、写真中央左は同営業部 宮崎 取材当時)

Net-It Central利用部門：化工品業務部情報システムユニット

Net-It Central対象文書：システム開発規約・申請書、仕様書、ユーザ向けマニュアル等

「〇〇が知りたい！で、どのシステムを見ればいいの？」

2. 文書の登録作業が面倒

「文書管理システムに文書を登録するには、まずタイトルを入力し、属性を入力し、ファイルを指定して、アップロードボタンを押して…。面倒くさい…。」

「イントラネットに情報をアップするには、まず文書をHTML形式に変換して、レイアウトを修正して、できあがったHTMLファイルと画像ファイルをイントラネットWebサーバにアップロードして、既存のページからリンクを貼って…。面倒くさい…。」

3. 検索機能が貧弱

「〇〇が知りたい！検索したい！え、できないの！？」

4. ちょっと中身を見るだけなのに、ダブルクリックして都度アプリケーションが起動するイライラ

「ファイル名だけ見ても、中身が分からないぞ…。これが知りたい情報かな？(ファイル名をダブルクリック→ファイルダウンロード開始→アプリケーションが起動→待たされる…) ちょっと見たいだけなのに、遅いなあ…。(イライラ)」

5. 開いた文書が見間違えた時のストレス

「ファイルを開いてみたら、結局、知りたい情報じゃなかった…。あれだけ待たされたのに…。(徒労感)」

■ブリヂストン 化工品業務部の概要

— ブリヂストン 化工品業務部の概要を教えてください。

ブリヂストンには、タイヤ事業と化工品事業の2本の柱があります。化工品事業では、工業資材、土木建築資材、精密部品、自動車部品などの化学工業製品の開発・製造・販売を行なっています。ブリヂストンの主力製品であるタイヤづくり技術、すなわちゴムの加工・製造技術を、他の製品づくりに応用している事業とお考えください。売り上げはブリヂストン全体の20%を占めています。ブリヂストン 化工品業務部(以下 ブリヂストン)は、化工品事業の戦略立案・実施といった司令塔的役割を担っています。

■Net-It Centralをどう活用しているか

— ブリヂストンでは、Net-It Centralをどう活用していますか。

Net-It Centralにより、化工品業務部の情報システム部門における文書データベースを構築しています。格納している文書は、部内業務マニュアル、システム開発関連の規約・申請書、課内のルール、ユーザ部門向けシステム操作マニュアルなどです。

Net-It Centralは2004年に導入しました。導入した目的は、「2007年問題への対応」、「文書共有の抜本的改善と効率化」という二つの課題を解決するためです。

■Net-It Central導入以前の課題

— 当時の課題、「2007年問題への対応」、

「文書共有の抜本的改善と効率化」について詳しくお聞かせください。

まず「2007年問題(ベテラン世代の大量退職)への対応」について。ブリヂストンの情報システム部門でも2005年～2010年にかけて、ベテラン世代(いわゆる『団塊の世代』)の社員が多く退職します。そうした社員の業務知識、特に汎用機システムの運用ノウハウなどを、次の世代に確実に伝えていく必要がありました。

第二に「文書共有の抜本的改善と効率化」について。ブリヂストンでは、Net-It Central以前は、イントラネット、ファイルサーバ、文書管理システム(グループウェアの一機能)を使って文書を共有していましたが、いずれのシステムにも多くの問題がありました。

そうした折に、キーマンズネット(リクルートが運営する企業向けIT情報サイト)のメールマガジンでNet-It Centralの事を知り、例の黄色い小冊子「知らないと6000万円を失う『使える』企業ポータル7つの鉄則」を取り寄せました。一読し、「これこそ探していたものだ！」と思いました。

■それまでの文書共有のやり方の問題点(総論)

— Net-It Central導入以前の問題点について詳しくお聞きしたいと思います。まず全体としてはどんな問題があったのですか。

一言で言えば、「欲しい情報がすぐに見付からない」という問題がありました。この問題を細分化して述べると以下ようになります。

1. ファイルサーバ、イントラネット、文書管理システムの三箇所に文書が散在

■それまでの文書共有のやり方の問題点(各論)

— 全体的な問題が分かりました。次に、文書管理システム、ファイルサーバ、イントラネット、それぞれの問題点について詳しくお聞かせください。

第一に、「文書管理システムによる文書共有」には、「文書登録の手順が面倒すぎる」という問題がありました。登録までに、属性の入力等を含めて最低7クリックを要するなど、面倒でした。

また「文書毎に検索用の情報登録をしないと検索ができない」という問題もありました。この設定だけで5クリックを要するなど面倒です(しかし面倒を嫌って設定を行わなかった場合、その文書は「検索不可能」となります)。

さらに、ファイルをダブルクリックして開かないと内容が分からないという前述の問題もありました。

第二に「ファイルサーバによる文書共有」には、「ファイル名を見ただけでは内容が分からないため、ダブルクリックして開かなければならない」という同様の問題に加え、「Windows付属の検索機能では、検索速度が遅い」という問題点もありました。

第三に「イントラネットによる文書共有」には、「検索機能がない」、「表示速度が遅い(PDFの場合)」、「文書の公開作業が面倒」という問題がありました。イントラネットに公開するために、WordやExcelで作成した文書をHTMLに変換する工数は大変です。

最後に、各システム共通の問題として「文書の印刷とダウンロードが自由」であるため、情報の外部流出などセキュリティ面での不安がありました。

検討製品比較表

評価項目	Net-It	文書管理	イントラネット	ファイルサーバー
操作性	○	×	△	○
管理	○	△	○	×
保守	○	○	△	×
費用	△	×	○	○

■Net-It Centralを採用した理由

— こうした問題を認識した後、何を行いましたか。

まず「これらの問題が解決した理想状態」を自分達の中で明らかにしました。その「理想状態」とは以下の通りです。

1. 過去に作成した文書を手間を掛けずに共有できている状態
2. 30秒で目的の文書に到達できる状態
3. 情報のオープン化と即時発信ができていない状態
4. 知識の再利用を通じ、業務効率アップとスキルレベルの底上げができていない状態
5. セキュリティが十分に確保できている状態

これらを要求仕様として、各製品を比較検討しました。上記は、Net-It Central、文書管理システム、イントラネット、ファイルサーバを比較検討した際に作成した比較表です。

検討の結果、Net-It Centralが相対的に最も優秀だったので、採用いたしました※。2004年6月のことです。

なおNet-It Centralは、以下の通り製造業関係での導入実績が豊富であったことも、高評価につながりました。

電気機器：松下電器産業、三菱電機、モトローラ、東芝、日立製作所など

機械：石川島播磨重工業、豊田自動織機、BMW など

化学・医薬：呉羽化学工業、トクヤマ、ファイザー、マンダム、持田製薬など

食品・繊維・その他：コクヨ、宝酒造、岡村製作所 など

※検索エンジンとして、Accela BizSearchも導入いたしました

■Net-It Centralにより、それまでの問題点がどのように解決したか

— 先ほどご説明いただいた問題点は、Net-It Centralの導入により、どのように解決したのでしょうか。

Net-It Centralの導入により、それまでの問題点は以下のような形で解決しました。



文書はサムネイルで一覧表示されるので、クリックしなくても、中身がたい見当がつく

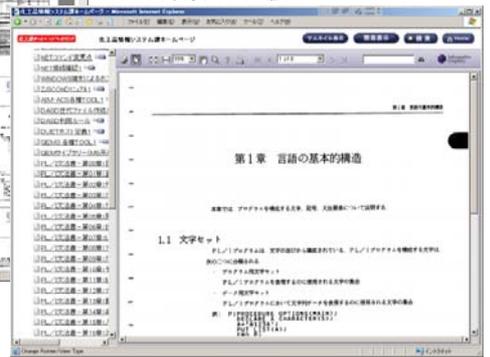
1. 「ファイルサーバ、イントラネット、文書管理システムの三箇所に文書が散在していた」
→ 「Net-It Centralサーバー箇所に集約。既存イントラネットホームページからアクセス可能に」
2. 「文書の登録作業が面倒だった」
→ 「ファイルサーバへ文書を放り込むだけで、イントラネットへ自動公開。作業工数はゼロ、公開リードタイムは2分の1に」
3. 「文書検索ができない」
→ 「検索エンジンとの併用で目的の文書へ30秒で到達」
4. 「ダブルクリックしてアプリケーションを起動して文書を開かないと中身が分からない」
→ 「文書をサムネイルで一覧表示」
→ 「文書内容はWebブラウザ上の高速ビューワBrava!でサクサク表示※。イライラ無し」
5. 「開いた文書が見間違いだったときのストレス」
→ 「Webブラウザ上でプレビュー感覚で軽快に表示できるためストレス無し」
6. 「情報の外部流出などセキュリティの不安」
→ 「文書単位で印刷・ダウンロードの可否を設定することが可能。さらに許可された文書を印刷した場合には、印刷日時と利用者名も自動的に印刷される（責任所在の明確化）」

※文書はNet-It Centralにより、Webでの表示に適した独自の表示用CDL形式に自動変換されてイントラネットに公開されます。CDL形式のデータは、Webブラウザに自動インストールされるBrava!ビューワ(ActiveXコンポーネント)で表示できるため、PowerPoint、Excel、Acrobatなどのアプリケーションが起動することはありません。

■導入効果と今後の期待

— Net-It Centralの導入効果をお聞かせください。

文書内容はWebブラウザ上の高速ビューワBrava!でサクサク表示。イライラ無し



Net-It Centralの導入により、文書共有の効率と利便性が大幅に改善されました。分かりやすく言えば、「かんたん登録。いっぱつ検索。らくらく表示」が実現しました。情報検索時間が劇的に短縮され、業務ナレッジをすぐに取り出して活用できるようになりました。

そのため、ベテランから新人への知識継承も容易になり、冒頭で述べた「2007年のベテラン大量退職への備え」についても目処が立ちました。新人社員の即戦力化が可能になっています。

システム運用管理面でも効率化されています。これまで、担当者が丸三年もかかって、過去の文書をHTMLに変換してイントラネットにアップしていました。Net-It Centralにより、その作業がゼロになりました。人手がかからないメンテナンスフリーなシステムという点が、他のシステムとは大きく違うところだと思います。

このようにあらゆる面から見て、Net-It Centralの導入は成功だったと考えます。

— オーシャンブリッジへの今後の期待をお聞かせください。

今のところ、Net-It Centralにはほとんど不満がありません。評価段階で提示した問題点はほぼクリアされています。導入後に新たに挙がってきた「印刷・ダウンロードだけでなく、画面キャプチャも禁止したい」という要望も、最新バージョンで対応されています。

今後のオーシャンブリッジへの期待としては、「これからもユーザーの声を聞き、取り入れる姿勢を持ち続けて欲しい」ということに尽きます。ユーザが育てていくソフトウェア、ユーザが育てていく会社であり続けて欲しいと思っています。

※より詳しい内容を下記ページで公開しています。
<http://www.oceanbridge.jp/netit/case/>

Net-It Centralサイト <http://www.oceanbridge.jp/netit/>にて、デモサイト、試用版等を公開しています

●Net-It™はInformative Graphics Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。 ●その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。



Net-It Central 国内総販売代理店
株式会社オーシャンブリッジ
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC第1ビル9F
ホームページ: <http://www.oceanbridge.jp/>
E-mail: netit@oceanbridge.jp
TEL: 03-5464-2112(営業部)

●お問い合わせ先